

労働者協同組合法成立記念

そこに困った人あれば、笑顔になれる場をつくる。  
悩む人あれば、思いをひとつに共に汗を流す。  
支えたいと思っていたら、いつの間にか支えられていた。  
「ひとり一人の願い」をかたちにする新しい働き方!?

地域の底から、社会をつくる

10月30日(土)~

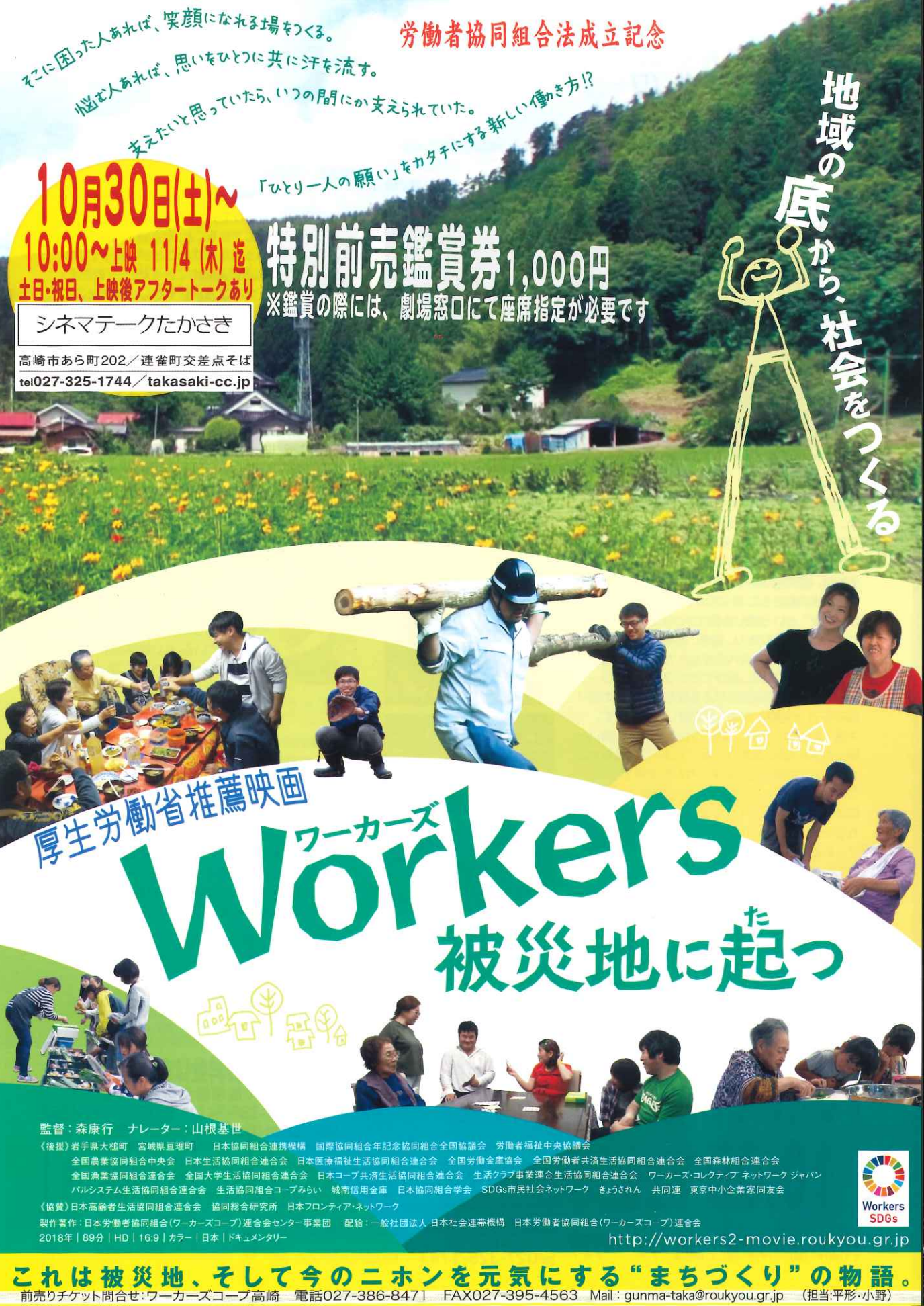
10:00~上映 11/4 (木)迄  
土日・祝日、上映後アフタートークあり

特別前売鑑賞券 1,000円

※鑑賞の際には、劇場窓口にて座席指定が必要です

シネマテークたかさき

高崎市あら町202/連雀町交差点そば  
tel027-325-1744/takasaki-cc.jp



厚生労働省推薦映画

# ワーカーズ Workers 被災地に起つ

監督：森康行 ナレーター：山根基世

《後援》岩手県大槌町 宮城県亘理町 日本協同組合連携機構 国際協同組合年記念協同組合全国協議会 労働者福祉中央協議会  
全国農業協同組合中央会 日本生活協同組合連合会 日本医療福祉生活協同組合連合会 全国労働金庫協会 全国労働者共済生活協同組合連合会 全国森林組合連合会  
全国漁業協同組合連合会 全国大学生生活協同組合連合会 日本コープ共済生活協同組合連合会 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン  
パルシステム生活協同組合連合会 生活協同組合コブみらい 城南信用金庫 日本協同組合学会 SDGs市民社会ネットワーク きょうせん 共同連 東京中小企業家同友会

《協賛》日本高齢者生活協同組合連合会 協同総合研究所 日本フロンティア・ネットワーク

製作著作：日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団 配給：一般社団法人 日本社会連帯機構 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会

2018年 | 89分 | HD | 16:9 | カラー | 日本 | ドキュメンタリー

<http://workers2-movie.roukyou.gr.jp>



これは被災地、そして今のニホンを元気にする“まちづくり”の物語。  
前売りチケット問合せ：ワーカーズコープ高崎 電話027-386-8471 FAX027-395-4563 Mail: gunma-taka@roukyou.gr.jp (担当:平形・小野)

# 2020年12月4日、労働者協同組合法成立記念 労働者協同組合（ワーカーズコープ）法が 全会一致で成立！

組合員の出資、従事、意見反映を原則とし、多様な就労の機会の創出と地域に必要な事業、仕事おこしを通じて持続可能な地域社会の実現を目指すことを目的とした法律です。3人以上の届け出制で…設立することができ派遣業を除くあらゆる分野での協同労働による仕事おこしが可能になります。



12月4日参議院本会議にて与野党全会一致で可決した様子

## あらすじ

高度経済成長の終焉から半世紀。環境危機、人口減少、ますます広がる貧困や格差は、否応なく私たちが持つ価値観の転換を求めています。そんななか起きた2011年3月の東日本大震災—

それは、被災地のみならず、ポストコロナ社会を生きる現代の私たちにあらためて“これから、どう生きるのか？”という問いを投げかけました。本作は、これまで長きにわたり、競争、効率、自己責任ではなく、持続可能な社会への仕組みづくりを地域の人とともに模索・実践し続けてきたワーカーズコープ（協同労働の協同組合）による東北被災地での取り組みを22ヶ月間にわたって記録したものです。大槌・気仙沼・亘理・登米「ひとり一人の願いと困った」からはじまるワーカーズコープの仕事おこしは、東北の被災地でもおこなわれてきました。コロナ禍の現在、市場（カネ）中心の経済から命の経済への転換が叫ばれています。この映画は新しい社会に向かうための多くのヒントを見る人にと与えてくれるでしょう—

変わりゆく東京の下町でのワーカーズコープの取り組みの様子を描いた『Workers』（2012）に続く、映画第2弾となります。



監督：森 康行 ナレーター：山根基世  
企画：田中幸子／横山昌平 プロデューサー：藤田 徹／川邊亮司 小澤真（東北担当） 撮影：野間健／古賀陽一  
編集：古賀陽一 音楽：平野晶子 音楽プロデューサー：八重樫健二 録音：3脚保二  
製作著作：日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会センター事業団  
配給：一般社団法人 日本社会連帯機構 日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会  
配給宣伝協力：ウッキー・プロダクション 2018年/89分/HD/16:9/カラー/日本/ドキュメンタリー



## コメント

内田樹（思想家）



この映画に出て来る人たちが「自分ができること」しか自分にはできない、「自分ができること」なら自分にはできるといふ当たり前のことがわかっています。当たり前のことを「当たり前だよ」と言うことがむずかしい時代にここちよい「常識の衝撃」を与えてくれた作品でした。

天童荒太（作家）



映画の中の、謙虚で、不器用で、口下手で、でも、一生懸命に人や地域とつながろうとしている人たちの笑顔に、見終わって、とっともほっとした。なんだか勇気をもらえた。いるんだよ、こういう人たちが、まだいっぱいいるんだよ。だから、あきらめなくていい。笑い合い、涙を分かち合える世界を信じていい。ずっとずっと願っていた、夢のかけらが、この映画の底には輝いている。

山内明美（宮城教育大学准教授）



これまでの労働のあり方の限界を見すえた時、「生の労働」がどんなかたちをしているのかを発見したひとびとがここにいる。丸い地球の水平線に何がきつと待っている 進め！

## 観客のこえ

「この国の行き詰まりの解決策の一つを見ることができた。希望の明かりを見出した気持ちになった。働くことに不安を抱えた若者に見てほしい」

（40代女性）

「世界中が混乱に向かって暴走している。うまくいくかどうかは問題ではなく、まず一人一人が足元を固めて自立した協同を守ることだ。映像を見ながら、これこそ『顔の見える文化』の創造だと思った。」

（20代男性）

上映に関する  
お問い合わせ先

配給：一般社団法人 日本社会連帯機構（担当：酒見・飯沼）  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-44-3 池袋 ISP タビル7 階  
TEL:03-6907-0051 Mail:workers2-movie@roukyou.gr.jp

10月30日(土)~11/4(木)

特別前売鑑賞券 1000円(当日料金は劇場規定による)

※鑑賞の際には、劇場窓口にて座席指定が必要です

前売りチケット問合せ:ワーカーズコープ高崎 ☎027-386-8471 FAX027-395-4563  
Mail:gunma-taka@roukyou.gr.jp (担当:平形・小野)

10:00~上映

30(土)31(日)11/3(水・祝)、上映後アフタートークあり

シネマテークたかさき

高崎市あら町202/連雀町交差点そば

tel027-325-1744 / takasaki-cc.jp



JR  
高崎駅